古賀市健康文化施設　クロスパルこが

No. 19-001-2010更新
新築
その他

発注者	古賀市
設計･監理	(株)間組九州支店一級建築士事務所
施工	(株)間組九州支店

カテゴリー
A. 環境配慮デザイン　B. 省エネ・省CO_2技術　C. 各種制度活用　D. 評価技術／FB
E. リニューアル　F. 長寿命化　G. 建物基本性能確保　H. 生産・施工との連携
I. 周辺・地域への配慮　J. 生物多様性　K. その他

豊かな自然と融和したユニバーサルセンター

ひとつ屋根の下に皆が集い、交流し、心が響きあう場

敷地のある古賀市は、南東部に犬鳴山地、中央部には田園を中心とする平野、そして北西部には白砂青松と玄海灘を有するなど豊かな自然に恵まれています。「古賀市健康文化施設　クロスパルこが」は幼児から高齢者、障害者など、全ての人が集い、リフレッシュできる場として、古賀グリーンパークの中核施設として建設されました。

自然環境、自然エネルギーの積極的な活用によるランニングコストの低減

自然に逆らわず、自然の恩恵を効率的に利用することで、環境に配慮した「快適な室内環境づくり」を実現しています。

・大屋根の屋根散水により室内外の温熱環境を改善しました。
　雨水を利用し、資源の有効活用を図りました。
・採光、通風に配慮したトップライト、開口部を設置することで、
　自然採光及び自然換気の積極的な活用を図りました。
・設備機械の排熱を利用し、床下ピットを除湿しています。
・屋根や外壁の十分な断熱、遮音により快適な室内環境の確保を
　図っています。

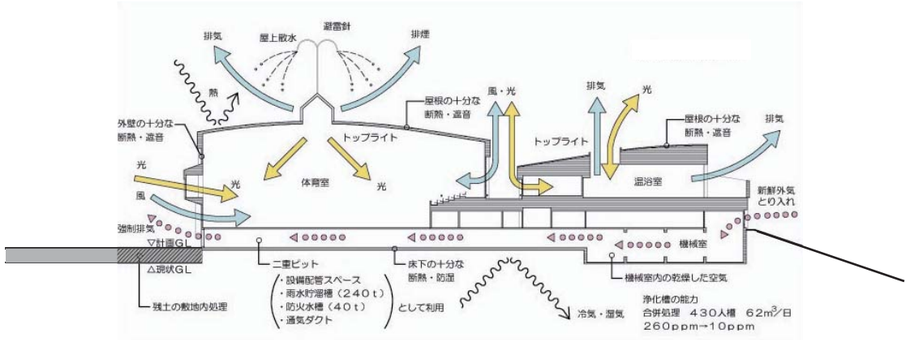
南東側外観図

省エネルギーへの配慮

自然の持つエネルギーと省エネ設備を融和させた施設としています。

・全熱交換システムにより外気の熱負荷低減を図っています。
・高効率型の照明器具を採用し、使用目的に応じた細やかな点滅計画
　としています。
・節水型衛生機器の採用し、水道使用量の節減を図っています。
・ボイラー燃料はＬＰＧとし、ＮＯＸ、ＳＯＸを低減しています。

エントランスホール



快適な室内環境づくり

地域性・アメニティへの配慮

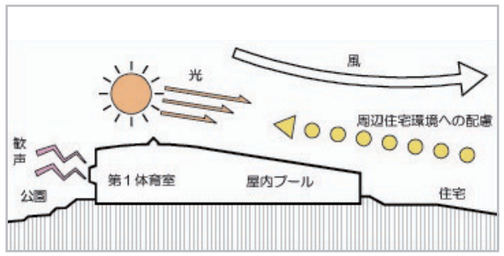
最も高い体育室部分を南側に配置し、住宅地である北東側の建物高さを低く抑えることにより周辺住宅への圧迫感・騒音・日影の影響を少なくしています。
さらに、屋外設備機器・浄化槽・ごみ置場を含めたバックヤードも住宅地から離れた北西側に集約し、住宅地に対する騒音やにおいなどの影響も少なくしています。

また、オープンスペースとして前庭に屋外劇場を設け、古賀グリーンパークを訪れるすべての人々のための交流の場としています。

航空写真

敷地周辺との関連図

体育室



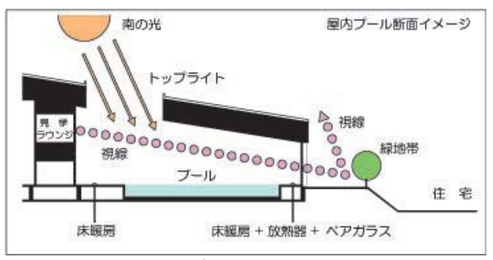
体育室と周辺住宅との関連図

冬期の屋内プール環境の快適性の追求

利用者の快適性を向上すると共に、大空間でのエネルギー削減を行っています。

・トップライトにより自然光を導入、利用し消費電力を低減しています。
・プールサイドの温水式床暖房により、空調機からの不快なドラフト感を排除しています。
・外壁窓側の温水式輻射型放熱機とペアガラスにより、コールドドラフトを低減しています。

屋内プール



プール概念図

建物データ

所在地	福岡県古賀市
竣工年	2005　年
敷地面積	12,177㎡
述床面積	7,242㎡
構造	SRC ＋ RC造
階数	地下1階、地上2階

主要な採用技術(CASBEE準拠)

Q2.2	耐用性・信頼性（建基法に規定された地震力×１．２５倍の耐震性能）
Q2.3	対応性・更新性（施設全域の２重ピット化による、容易な設備配管・配線の修繕・更新）
Q3.2	まちなみ・景観への配慮（建物形状・諸室の配置により、住宅地側への騒音・日影・視線などを低減）
Q3.3	地域性・アメニティへの配慮（屋外学習や交流の場となる屋外円形劇場を配置・わかりやすい動線計画）
LR1.2	自然エネルギー利用（自然通風・採光ができる窓の配置、地下機械室の排気を床下全体に廻し湿気を低減）
LR2.1	水資源保護（屋上（大屋根）への雨水利用の散水、節水型便器・自動水栓・節水コマの採用）

サステナブル建築事例集／社団法人建築業協会
※本事例シートおよび記載内容の二次利用を禁止します